

# YY ワールド実行グループ、展示物準備計画案

## § 1、平成21年度YY ワールド会議報告

(第25回島本町YY ワールド事業全体会及び各部門会)

主だった説明内容を抜粋して報告します、参加する上での概要、詳細は当日(3/13)のYYワールド全体会議/部門会議、添付ファイルのレジユメをご覧ください。

### ●会議内容の抜粋

#### 1全体会議での説明抜粋(詳細はレジユメ参照)

- ①部門別作業場所として、ふれあいセンター3階『生涯学習会議室』が使用できる。  
(9:00 ~ 21:00) 他団体も使用されるので、事前に部屋の使用状況をふれあいセンター内生涯学習課に電話(961 - 1011)で確認する事。

**※上記『生涯学習会議室』及び『生涯学習準備室』を使用される場合は、必ず、1階生涯学習課受付(エレベーター前)において「YYワールド」と申し出、鍵と部屋専用ファイルを受け取ってください。  
使用後は、ファイルに必要事項を記入し、鍵とともに返却してください。**

但し、生涯学習室使用は9:00~17:00までは1階エレベーター前の受付にて鍵を受け取るが、それ以後の夜間使用の場合21:00までの使用は前もって申し込んでおく事。

#### ②会計

- ・領収書(レシート)の日付は4月1日以後の日付のものしか受け付けない。
- ・領収書(レシート)の裏側にNo.をつけ帳票と合わせる。
- ・第2回前回会議のとき食券を渡す。  
(昼食は町営住宅集会所にて各展示者の中で時間をずらして食事をする)

#### ③ゴミ出し

一般来場者のみゴミステーション利用可、コーナーからゴミは捨てない事。

#### ④車の乗り入れは9:00~16:00は禁止

#### ⑤4/25(前日)会場設定9:00~、各団体毎に準備する。

#### ⑥4/26(当日)中止の場合は各団体責任者に連絡あり。

## 2、部門会議フォレスト島本関連抜粋事項

- ①展示場所について、テントと竹切り場所の一団の場所を会議の中でお願いした結果、各団体の了承のうえ、確保できました。

(添付資料のYYワールド配置図、遊びテントの5番とその周辺です。)

- ②町のトラック借用の件、「島本リーダクラブ」が前日と当日借用を申出していたので、「フォレスト島本」と調整をして下さいとのこと。

「島本リーダクラブ」の責任者は、会議では代理の方が出席されていたので、責任者のTEL-NO.を聞いておりますので、後少し準備を進めてから、調整を試みようと思います。

念のため当日フォレスト島本に割り振られる、駐車スペースは法貴さんの愛車を止めて頂く予定です。

## § 2、平成21年度YY ワールドの提示物準備まとめ

### ●今後準備しなければならないもの(青字部分) (黒字は、この前の報告の内容です)

#### 1、展示物の準備

##### ①パネル展示 (島本町の森林の実態)

フォレスト島本として今まで携わった島本町の森林の実態を分かりやすく展示、撮影場所は同一ではないが、ビフォー(現森林の荒廃した実態)アフター(整備後の状況)とその真ん中に整備活動の必要性など展示する。90cm×180cm(サブロク板)サイズで作成する。  
(西村氏、山本氏作成のパネルを参考に作成したいと思いますのでよろしくお願ひ致します)

##### ②木材の展示 (島本町内の伐採材)

・尺代地区の民有地の整備で伐採された杉・ヒノキ・その他の大木の切株を切断して机上に展示し直に触ってもらったりする。松田氏提供

(切株の搬出、切株切断面削り均し、年輪説明などの作成準備必要)

・メタセコイアの第二小学校に植えられていたメタセコイア樹齢約20年径40cmの切り株。中島氏から提供

(3/05 中島氏から校長先生に許可を得て頂き、案内により第2小学校に切株を頂きに行く、チェンソー山本氏、手伝い高橋、小野)

(3/17に西村氏に電気かんなとグラインダーで切断面を削り均して頂く。)

(残り準備;メタセコイアの特徴など紹介文の作成準備が必要)

##### ③竹材の展示 (島本町内発生竹)

・島本町内の竹の種類(孟宗竹、真竹、破竹、黒竹等)を、竹稈・枝・葉付きと一緒に展示し、竹素材の違いを見せよう。(展示用・各種竹の収集が必要)

・竹には木のように年輪が無いことは分かっているが、竹の年代が解る展示をしたい。

(孟宗竹で、竹の年代がわかるように1年目、2年目~数年目、朽ち始めた竹など展示し年代を見せたいのですが?枝分かれの数で年代がわかるとか?何方か、この年代のわかる展示方法をお願いしたいのですが?)

・通常あまり目にする大径の竹材(玉切り)も展示する。

(活動地にて収集する必要あり)

##### ④孟宗竹の簡単な細工物の展示

子供達の青竹、切る時の参考用に、簡単にできる出来る竹製の工作品の見本サンプルを展示する。

(展示用・各種竹の簡単な細工物の作成が必要、各自手分けしてほしい)

#### 3、遊び部門

※青竹きりの場所とテント(展示物)は一団のスペース内に場所配置を交渉、結果各団体にも了解を得られ決定した。

##### ①青竹きり(準備)

・受付1箇所、材料の集積(3箇所に切る前の青竹配分集積4/25)。

・タイムトライアル掲示パネル1枚設置、3箇所分の記録を書き込んでゆく。(模造紙必要)

・青竹の搬送(搬入・搬出)には町のトラックを借り出す。但し「島本リーダクラブ」が先に借用を希望していたので調整が必要。

調整の如何によっては法貴氏の愛車を借用する。本人には快諾を得ている。

- ・会場への青竹搬入は開場後も人力運搬に限り所定の場所から運ぶ事は可能。
- ・青竹は運搬する町の車に合わせた長さとする、法貴さんの愛車を借用する場合は2～3mの長さに球切りする。
- ・青竹の径の太さは、参加者の年齢・体力等を考慮し大～小径や枝付も含め複数準備する。
- ・竹きり参加者への安全説明の徹底

## ②青竹きり（必要な工具）

- ・切り方にもよるが、単に切断するだけの作業だと短時間内に全作業が終了することが予想される。切り出した竹材の利用（応用）の手助けを行う事も考えておく。
- ・今回はのこぎりによる切断作業を被験者に体験して貰うことを主たる目的にする。
- ・竹工房でも、教えながらも自分の作りたい物を作って楽しむ事もあった、其れを見て色々な工具の使い方を知るのではないか？
- ・工具は切断後の竹の切り方の手直しに合わせて複数準備する、この場合安全面より、その工具を使うのはスタッフに限定する。

## ③青竹切り（手順）

- ・竹の用途確認、切る長さ、切る角度、残す節（1人2節以下まで可）などその都度参加者に確認しておく。（家に持って帰ってから加工する人には、青竹で簡単に作れるサンプルを展示しておいて参考にしてもらう）
- ・参加者の希望に応じた位置に、厚紙をあてがい線引きのガイドにして、竹に切り線を描く。
- ・切り線を描いた後にのこぎり手渡す。切断作業には手袋を使用しない（素手の方が安全）。
- ・青竹きりは必ず2名のスタッフで補佐する、竹を架台に装着し、竹を押さえ固定し、のこぎりの使いかた、竹の切方を教える。  
（斜めに切る場合は特に当て木などを使い、のこぎりが滑って怪我をしないように誘導する、当て木の作成3セット必要）
- ・青竹切断時のアシストについて、切断時の安全性を見極めながら慎重に作業を進める。
- ・その時、1稈切断のタイムトライアルを行う。（ストップウォッチでタイムを計測し、切断所要タイムをパネルに張り出す）これは以後開催の時間配分の参考にもなる。  
（ストップウォッチのスイッチを押す、記録をつけるなどは参加者にお願いするとか、これから要検討）
- ・切取った竹の、切り口はささくれ立っており、手に刺さらないようにサンドペーパーなどで削る。
- ・切断した青竹は参加者に持って帰って貰う。要らない場合はゴミとして集積処分する。
- ・フォレスト島本の展示物（テント）への案内誘導をしてパネル展示物を見て貰って、青竹切り一連の遊びの終了とする。  
また竹切り遊びに参加しない一般来場者も自由に展示物の見学ができるようにしたい。

## 補足

- ・参加者人数（推定）を150人から200人に増やす。
- ・準備する青竹の切り出しする数量と場所・日時を決める。
- ・当日（4/26）までに必要な準備を分担して行う担当者を決めて、その人達に責任を持って準備して貰う。

作成 小野  
アドバイス 松田  
添削 高橋